

| 友愛の森(二中だより)

学校教育目標 二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造 令和5年5月1日発行



「心のこもった温かい挨拶が富士宮第二中学校の新しい文化」 ~ 4月全校朝礼より ~

校長望月俊伸

今年度、本校の学校教育目標は「二中文化を創造する生徒」です。二中文化とは何か?グランド デザインを見てみると、そこには、「希翔祭」「富士山学習」「福ろう製作所」「バチおどり」「浅 間大社清掃」等々、二中ならではの行事や学習活動が並んでいます。私は、もちろん伝統や歴史を 重んじるこうした活動を、二中文化と位置づけ、継続して取り組んでいきたいと考えています。一 方で、そこには「主体的な学び」「黙想・黙働」とも記されています。これらは日常的な活動です。 日頃から二中の全校生徒が、学校生活の中で大事にしている日常的な活動も文化と呼べるのです。 今年度皆さんには、こうした日常的な活動をより大切に、意識して取り組んでほしいと考えます。 そこで、私から次のような提案をさせてください。この中に是非「挨拶」を入れてほしい、「挨拶」 を二中文化の1つにしていってほしいというのが私の願いです。もちろん市内どこの学校も「挨拶」 については重点をおいて取り組んでいます。実際、ここ二中でも、皆さんとすれ違う時には今でも 気持ちのよい挨拶をしてくれる人たちが大勢います。ですが、本校が目指す「挨拶」とは、単なる 「形式的な挨拶」ではなく、「心のこもった温かい挨拶」です。すべての二中生がそれを目指し、 実行してほしいのです。「二中文化を創造する」とは、中学校時代だけにとどまらず、将来社会に 出てから活躍できる人、そして、社会に出てから幸せな人生を送ることができる人になることだと 私は考えます。この「心のこもった温かい挨拶」は、将来皆さんが社会に出た時に、活躍できるか どうか、幸せになれるかどうかの大きな鍵を握っています。

では、「**心のこもった温かい挨拶」とはどんな挨拶**だと皆さんは考えますか?私は**4つポイント**があると思います。「**自分から」「相手の目を見て」「大きな声で」「笑顔で」**

挨拶に関して、こんな話を読んだことがあります。(『あなたの人生が変わる奇跡の授業』比田 井和孝・比田井美恵/三笠書房)

ある経営コンサルタントの方が、ずっと気になっていたことがあったそうです。それは、「こうすればうまくいきますよ」というノウハウを、ある会社にもっていってやってもらうと大成功するのに、別の会社にもっていくと、全然うまくいかないことがあるそうです。その答えが最近やっと出ました。会社の中で、社員同士、気持ちの良い挨拶ができないところに、どんなノウハウをもっていてもうまくいかないのだそうです。なぜだと思いますか?

挨拶とは何かというところから説明しなくてはいけません。挨拶とは、「相手の存在を認め、相手に対して心を開くこと」です。集団の中で挨拶ができないというのは、その集団の中の一人一人が同じ集団のみんなに心を開いていないということですから、心を開いていない人たちに、どんなに良い話をしても、心には届きません。形だけ行動しても効果が出ないのは当たり前です。常に心を閉じて、人の話を聞くにも「そんなこと言ったって、そんなうまくいくわけないじゃん」と思っている人は、なかなか成長できません。人に対して心を開けない人は、人からも心を開いてもらえません。逆に、人に対して、いつも心のこもった温かい挨拶をして心を開いている人は、他の人も心を開いてくれるものです。

「心のこもった温かい挨拶が富士宮第二中学校の新しい文化」だと胸を張って誰もが言えるようにしていきましょう。校内にとどまらず、家庭や地域でも実行できたら素晴らしいです。私たちが二中文化と呼ぶだけでなく、周囲の人たちから認められたら本物です。そうなれば、多くの人たちから愛される、もっともっと誇らしい私たちの第二中学校になっていくに違いありません。

生徒会入会式(4月 10 日) 中学校生活について先輩から丁寧に説明や実演がありました







Meet にて学級委員辞令交付式(4月 13 日) 学級委員のみなさんよろしくお願いします

令和5年度前期学級委員のみなさん

1年生: 中村太臥さん 花村衣織さん 秋武瑠那さん 齊藤薫翔さん 仲井杏糀さん 松本心輝さん 2年生: 北美音さん 原田礼暉さん 寺田光太さん 森心春さん 佐野友彩さん 塩川元崇さん

3年生: 小長谷優太さん 堀内心結さん 公文喬介さん 榊間結女さん 芹澤優花さん 湯川銀二郎さん 佐藤雪奈さん 中村純さん

授業参観(1・3年)行事説明会(3年)(4月20日)道徳の授業を参観していただきました







浅間大社清掃(小6&中3) 防災訓練(4月21日) どちらの取組も立派でした二中文化の1つです







富士学ガイダンス 討論会(4月 14日) コミュニケーションカ育まれています





